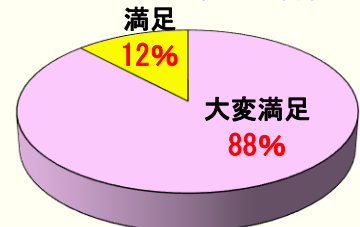


## 《SAFプログラム実施による効果》

SAFプログラムの効果等を検証するために、実施校には事後アンケートを提出していただいています。事後アンケート9項目4段階評価の結果をもとに、SAFプログラム実施による効果を紹介します。(アンケート回収率：88%)

### ＜プログラム実施の評価＞

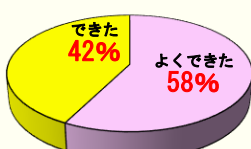


満足度100%

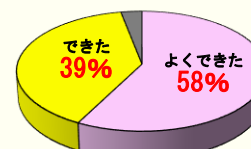
効果

### ＜プログラム実施の効果＞

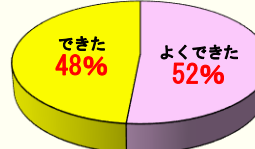
ルールに対してフェアである等、規範意識を高めることができた



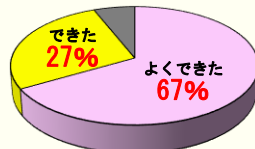
コミュニケーション能力を高めることができた



協調性を高めることができた

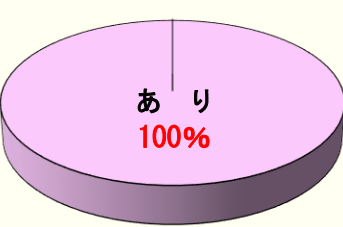


果敢に挑戦する力を高めることができた



※ ■ は「あまりできなかった」「できなかった」を表す。

### ＜実施1ヶ月後の継続効果＞



100%の継続効果

継続

参加者が課題解決に向けたアクティビティ（活動）に取り組みながら活動を振り返ることで、「規範意識を高めること」「協調性を高めること」「コミュニケーション能力を高めること」「挑戦する力を高めること」など、全ての項目において、94%以上の実施団体でよい効果が見られ、満足度が高いプログラムとなっています。

## 《子供から大人まで活用できるSAFプログラム》

### ＜小学校＞

#### ◇ 集団宿泊活動での活用

集団宿泊活動の充実を図るとともに、児童が集団宿泊活動を通じて得た「学び」を日常生活（学校生活や家庭生活）に生かすことができます。

### ＜中学校・高等学校＞

#### ◇ 新入生のスタートアップ研修

複数の学校から集まった生徒たちを対象として、「お互いのことを知る」など、集団の基礎をつくることができます。

#### ◇ 生徒会役員を対象にした研修

生徒会役員を対象に、リーダーシップの向上を図ることができます。

#### ◇ クラブ活動のチームづくり

クラブ活動に必要なチーム力を高めること（チームビルディング）ができます。

### ＜大学・専門学校＞

#### ◇ スタートアップ研修

学生生活がスタートしたばかりの学生たちのつながりを強めることができます。

### ＜スポーツ少年団＞

#### ◇ 各種スポーツのチームワークづくり

サッカーや野球など、各種スポーツのチーム力を高めることができます。

### ＜企業＞

#### ◇ 新入社員研修

新入社員の主体性や協調性、コミュニケーション能力の向上を図ることができます。



## 良好な人間関係づくりを促進する

# SAFプログラム

広島県立福山少年自然の家では、アメリカで開発された冒険教育（体験学習法）の一つである「プロジェクトアドベンチャー（以下「PA」という。）」の理論や手法等を生かした活動プログラム『SAF（サーフ）プログラム』を実施しています。

※ SAFとは、「Step of Adventure with Friends」の頭文字を取り、『福山少年自然の家で仲間とともに、冒険の一步を踏み出そう!!』という意図を含めた名前です。

SAFプログラムは、「学びの変革」を目指す「主体的な学び」を促進する教育活動です！！

主体性



自ら考え、物事に進んで取り組む力

コミュニケーション



自分の考えを伝え、他者の意見を受け止めながら意思疎通を図る力

### SAFプログラムのねらい

福山少年自然の家の自然環境（非日常）の中で、楽しみながら課題解決に取り組むグループ活動を通して、4つの力を育成します！！

チャレンジ精神



困難だと思う課題に対して果敢に挑戦する力

協調性



自他の考え方の違いを認め仲間と力を合わせ取り組む力

## 《お問合せ先》

広島県立福山少年自然の家【〒720-0542 広島県福山市金江町藁江619-2】  
 電話：084-935-7166 ファクシミリ：084-935-7179  
 電子メール：fsshizen@pref.hiroshima.lg.jp  
 ホームページ：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/fukuyamashonen/

SAFプログラムの詳しい内容はWebを

クリック

広島県立福山少年自然の家

## 《SAFプログラム運営の概要》

- ◇ **対象年齢**：小学校5年生以上（それ以外の学年については、ご相談ください。）
- ◇ **実施可能人数**：8人以上20人以下のグループ、もしくは、学級単位（40名以下）で実施可能
- ◇ **所要時間**：3時間程度
- ◇ **指導体制**：1グループに福山少年自然の家職員1名が、ファシリテーターとしてプログラム進行
- ◇ **プログラムの展開**
  - 実施団体の活動のねらいや要望、参加者の実態などを踏まえ、**プログラム展開案を作成**します。
  - 活動中の参加者の状況に応じて**プログラム展開を最適なものに修正**しながら進行します。



※ 「SAFプログラム運営の概要」に示してある内容以外の実施を希望される場合はご相談ください。

## 《SAFプログラム実施後の声》

令和3年度は、県内外の小・中・高等学校や広島県、福山市初任者研修など**43団体**がSAFプログラムを実施しました。SAFプログラム実施後の参加者や引率指導者の声を紹介します。

（令和4年2月28日現在）

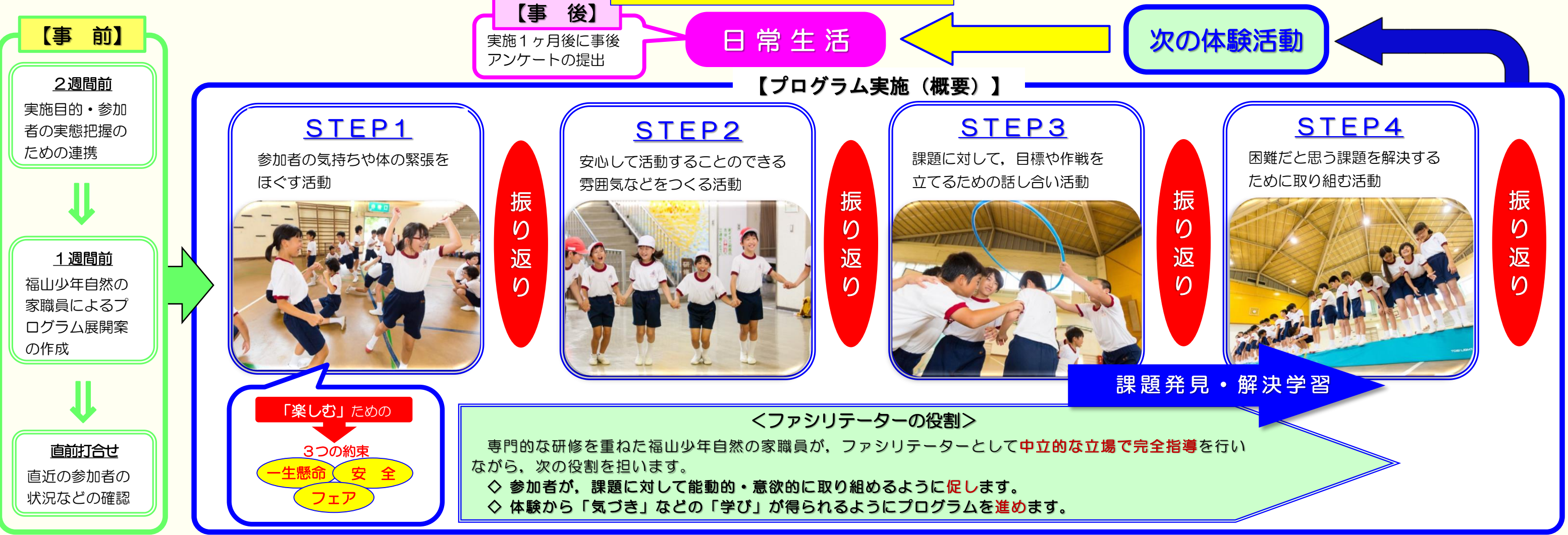
### ＜参加者の声＞

- ◇ みんなで挑戦して、みんなでやり遂げることができてうれしかった。また、みんなで何かをやり遂げてみたい。
- ◇ 誰かが失敗しても責めることなく、励まし合いながら協力することで、より楽しくなるんじゃないかなと思いました。
- ◇ チームでアイデアを出し合い、助け合いながら楽しく体験学習ができ、気づくと自然とコミュニケーションをとっていました。

### ＜引率指導者の声＞

- ◇ グループ活動など、友達と協力する姿が増えた。以前より肯定的な声掛けが多くなったと感じる。
- ◇ 人の失敗より、人の頑張りに気づくことができる生徒が増えている。
- ◇ 何事も、まずはやってみようという姿勢で、学習だけでなく、係や行事などにも前向きに取り組もうとする児童が増えた。

## 《SAFプログラム実施の流れ》



## 《さまざまな課題に取り組める大型器具の紹介》

◇ TPシャッフル（ポータブル型2基）



参加者全員が丸太の上に立ち、丸太から降りずに場所を入れ替わります。

◇ アイランズ（ポータブル型4基）



3つの台（島）から降りずに、大小の板（橋）を使って、3つの台（島）を渡っていきます。

◇ クモの巣（ポータブル型2基）



クモの巣に触れずに、参加者全員が、反対側に移動します。

◇ トラストフォール（固定型1基）



1人のチャレンジャーが、プラットフォームから後ろ向きに倒れるのを参加者全員で受け止めます。